

## 富士駅南地区（静岡県富士市）

### 1. 富士駅南地区の概要

#### (1) 地域特性

富士駅南地区は、富士山の南に位置し駿河湾迄 3～7km ほどの距離があり、JR 東海道線の富士駅と新幹線・新富士駅に挟まれた風光明媚な地区である。地区の海拔は 7～15 m程度である。



人 口：約 12,000 人、世帯数：約 5,100 世帯、面 積：約 2.6 km<sup>2</sup>

木造戸建て住宅が主体となっており、地区の所々に田が残っている。



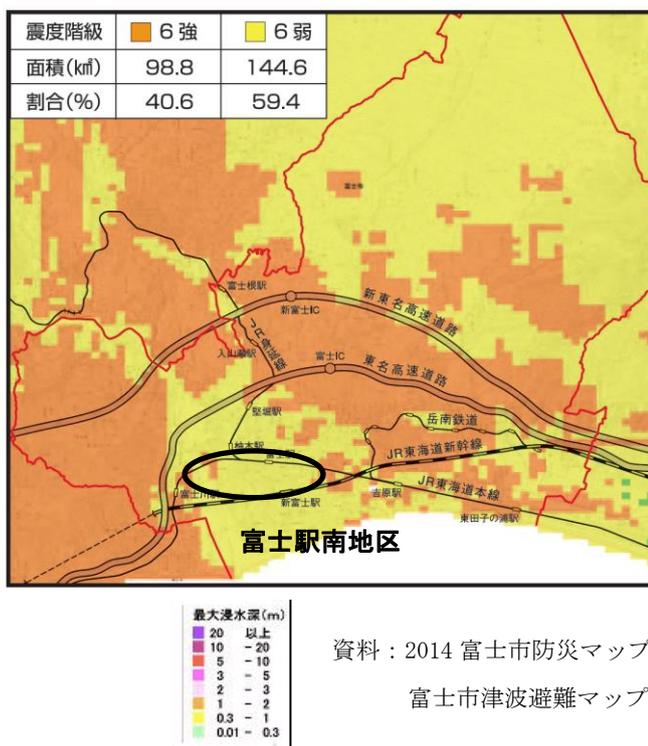
## (2) 過去の災害履歴

過去に大きな災害体験はない。

## (3) 想定災害

地区で想定される災害は地震（「南海トラフ巨大地震」と「富士川河口断層の直下型地震」）である。国が実施した南海トラフ巨大地震の被害想定を踏まえた静岡県第4次地震被害想定での想定震度は6弱で、駿河湾までの距離が6～7 kmと近いが、津波の浸水は想定されていない。

震度分布



津波浸水想定



## 2. 富士駅南地区における従来の取組状況（支援前）

### (1) 防災活動、防災訓練の状況

2007年(平成19年)

- ・地区活性化の一環として、駅南地区まちづくり協議会に『防災部会』（※1）を組織。災害発生時の避難所生活は混乱が予想されるので、テーマを「避難所運営」とし1年かけ避難所運営マニュアルを作成（※2）

2008年(平成20年)

- ・避難所運営訓練初開催（9区の自治会が一堂に会し訓練を実施）。以降毎年開催し作成したマニュアルの検証を実施。

2012年（平成24年）

- ・ 駅南地区防災会議初開催（自主防災会や各団体のつながりを深めることをねらいとして市主催で開催）
- ・ 災害時を想定し地元の企業と飲料水供給の協定を締結

2013年(平成25年)

- ・ 静岡県総合防災訓練会場に指定。これをきっかけに避難所運営訓練と同時刻に各区別々の場所で防災訓練を行うようになる（自主防災会と連動した防災訓練に移行）
- ・ 避難所となる小学校の防災教育に協力応援を開始

2014年(平成26年)

- ・ 避難所運営訓練時に地区内パトロールを開始（警察などの行政機関と連携）
- ・ 地区防災計画モデル地区に選定され、計画作成のためのチームを編成

- ※1 駅南地区まちづくり協議会は静岡県からの補助金がきっかけで作られた地区活性化を目的とした組織。高澤氏が防災ボランティア団体に加入していることなどを知る役員が高澤氏を防災部会に招き以降高澤氏が中心となり活動を展開してきた。
- ※2 避難所運営スタッフは、その構成からあえて各区の区長を除いている。各区で自主防災対策本部を設置し運営する必要がある、避難所運営に区長がはいった場合、各区の自主防災の責任者が不在となってしまう事態を避けるためである。

## (2) 行政他関係機関との連携状況

- ・ 避難所運営マニュアルの作成、避難所運営訓練の実施は、防災部会主導で行ってきており、行政（富士市）のかかわりは避難所運営訓練に出席する程度であった。
- ・ 2012年（平成24年）からは、自主防災会や防災部会を含む各団体のつながりを深めることをねらいとして市が主催する駅南地区防災会議を開催している。
- ・ 地区防災計画の検討にあたっては、行政も検討会議に参加し、検討支援を行っている。

## 3. モデル地区の取組内容（支援後）

### (1) 発生した課題及び解決策

#### ① 計画の作成主体の立ち上げ

- ・ 富士駅南地区を範囲とする地区防災計画の検討・作成にあたり、駅南地区まちづくり推進会議・防災部会メンバーにて検討チームを編成し、富士駅南まちづくりセンターを会場に会議を開催し、検討することとなった。

#### ② 地区防災計画についての理解

- ・ 地区防災計画を検討するにあたり、計画の構成、避難所運営マニュアルとの関係、新

たな取り組み事項の要否など地区防災計画を理解することから始める必要があった。

- ・これに対しモデル地区アドバイザーより、先ずはこれまで取り組んできた事項（避難所運営マニュアル）、組織構成を基に地区防災計画を作成し、運用後に新たな取り組み（帰宅困難者対策など）を追加してはどうかとのアドバイスを行った。地区ではアドバイスに従い地区防災計画の検討に取り掛かった。

## (2) 計画作成の支援内容（ワークショップ等の開催内容等）

- ・モデル地区に選定後、地区防災計画作成に関する検討会議を6回開催した。会議にはモデル地区アドバイザーが出席し、検討状況に応じてアドバイスを行った。

- 1回（12/12） 地区防災計画及びモデル事業について
- 2回（1/23） 地区防災計画の構成について
- 3回（2/5） 地区防災計画の構成について
- 4回（2/16） 地区防災計画モデル地区フォーラム発表内容について
- 5回（2/26） 地区防災計画モデル地区フォーラム発表リハーサル
- 6回（3/23） 地区防災計画検討方針



検討会議の様子

## 4. 成果及び今後のスケジュール

- ・平成26年度は、地区防災計画のねらいを明確にし、避難所運営マニュアルを計画に位置付けた地区防災計画の構成を示した。
- ・今後は地区防災計画の内容（構成要素）ごとの検討を重ね、関係者・団体との調整を図り、完成を目指す。